

「ArielAirOne」、4つの電子契約サービスとの連携を実現 クラウドサイン、GMOサイン、SMBCクラウドサイン、WAN-Signに対応

株式会社ワークスアプリケーションズ（本社：東京都千代田区、代表取締役最高経営責任者：秦修、以下WAP）が提供する大手企業向けグループウェア・業務アプリ開発プラットフォーム「ArielAirOne」シリーズは、2023年12月末にリリースとなる新バージョンより、クラウドサイン、電子印鑑GMOサイン、SMBCクラウドサイン、WAN-Signの4つの電子契約サービスとのAPI連携に対応します。



稟議作成から署名済みの書類保管まで、シームレスな連携でミスなく簡単に

ArielAirOneは、ワークフローや企業独自の業務アプリケーションを手軽に開発できるグループウェアとプラットフォームです。今回、ペーパーレス化や業務効率化を目的とした電子契約サービス利用が広がる中、クラウドサイン、GMOサイン、SMBCクラウドサイン、WAN-Signの4つの電子契約サービスとのシームレスな連携が実現します。

これにより、ユーザーはArielAirOne上で取引先情報を入力し、別途ログインすることなく電子契約サービスに反映できます。ArielAirOne上の稟議書に添付された契約書も、ダウンロードなしにそのまま電子契約サービス上で取引先に送付できるようになります。署名済みの契約書も同様のアクセス権限でArielAirOne上に保管可能です。これにより、ヒューマンエラーの防止や契約書と稟議書の一元管理が実現され、業務プロセスがより効率的に進行します。

【ArielAirOneについて】

スケジュール（カレンダー）や施設管理、Webサービス連携、ポータル、ファイル管理、ワークフロー開発など、情報共有をはじめコミュニケーションに必要な機能を備えたグループウェア・業務開発アプリプラットフォームです。多彩な設定が可能で、企業文化に合わせた情報共有を促進するだけでなく、柔軟なアクセス権限設定により情報漏洩などを防止し、内部統制の強化にも寄与します。また、複雑な業務プロセスに適した高度な業務アプリケーションから、現場で簡単に作成できるアプリケーションまで、どちらも簡単に開発できます。学校法人近畿大学やグンゼ株式会社など、大手企業・法人に導入されています。

グループウェア「ArielAirOne Portal」製品サイト：<https://www.worksap.co.jp/services/groupware/>

ワークフロー・開発ツール「ArielAirOne Framework」製品サイト：

https://www.worksap.co.jp/services/workflow_development-tools/

※上記2製品を合わせたライセンスは、「ArielAirOne Enterprise」となります。<https://saas.worksap.co.jp/ariel/lowcode/>

【ワークスアプリケーションズについて】

ワークスアプリケーションズは、1996年の創業以来、日本発の業務アプリケーションのパッケージソフトウェア会社として、主に国内の大手企業向けに製品・サービスを提供してまいりました。「働く」の概念を変え、仕事をより創造的なものへ、企業の生産性を高め、企業価値を拡大する、この企業理念のもと、ERPを軸とし

たソリューションプロバイダーとして、大手企業に加えて中堅・中小・スタートアップ企業のDX推進のパートナーとなるよう、さらなる発展を目指していきます。

株式会社ワークスアプリケーションズ サイト <https://www.worksap.co.jp/>

*会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

*本リリースに掲載された内容は発表日現在のものであり、予告なく変更または撤回される場合があります。また、本リリースに掲載された予測や将来の見通しなどに関する情報は不確実なものであり、実際に生じる結果と異なる場合がありますので、予めご了承ください。

■本件に関するお問い合わせ先

TEL : 03-3512-1400 FAX : 03-3512-1401 Email : pr@worksap.co.jp

株式会社ワークスアプリケーションズ 広報担当